



正覚寺だより

第78号
令和8年
1月15日

ここに来ると
なんだか
ほっとして
わくわくする





真実が見えず 苦しみの只中にある私を救おうと

阿弥陀さまが自ら立ち上がって 足を運んでくださる

真実が見えない私

ある少年の話。祖父に「米粒の中には仏さまが宿るのだから、無駄にするなよ」と教えられ育ちました。ところが成長して、米粒を顕微鏡で見てみるとそこに仏さまの姿はありませんでした。少年は「おじいちゃんは嘘つきだ!」と祖父に言いました。それでも、祖父は静かに「嘘ではないよ」と答えます。やがて少年は大人になり、ようやく気づきま

した。祖父は米の成分のことを言うのではなく、米粒には、天候のめぐり、人の労苦、宇宙全体のはたらきがつまっている。その尊さを、「仏さまが宿る」と言っていたのです。この少年のように、わたしたちは、見えるものだけで判断し、本当のことが見えていないのです。

腹の底で何を思っていようと、どんな生き方をしていようと

それでも私は、あなたを救う仏になっていくよ

無条件の救い

川で溺れる人を助ける時「お礼をくれるなら助ける」などとは言いません。目の前で苦しんでいる人を助ける。ただそれだけです。阿弥陀さまも同じです。「信じたら救う」「正しい行いをしたら救う」と条件をつけられま

せん。腹の底で何を思っていようと、どんな生き方をしていようと、それを問題にはならない。「それでも私は、あなたを救う仏になっていくよ」それが阿弥陀さまのお心なのです。

阿弥陀さまはどこか遠くにおられるのではない

私とともに いのちを生きてくださっているのです

阿弥陀さまがご一緒にくださる尊い命

折に触れて、愚痴を言ってしまうこの口。けれど、今、その同じ口から「南無阿弥陀仏」のお念仏がこぼれてくる。私のこの命の中に、阿弥陀さまが満ち満ちてくださっている。そして、この私を、

お念仏申す身に育てあげ、ご一緒にくださるのです。私ひとりの命ではない。阿弥陀さまがともに生きてくださる尊い命。そんな命を私たちは今、いただいているのです。



阿弥陀さまのお姿

立ち上がって少し前傾姿勢。私の前に足を運ぼうとされています。また、右手は「摂取」私を抱きとめてくださいます。左手は「不捨」私を離しません。

私を抱きとめて 決して離さない



諸仏如来はこれ法界身なり

一切衆生の心想のうちに入りたまふ『仏説觀無量寿經』

仏はひろくすべての世界で
人々を教え導かれる方であり、
どの人の心にも入り満ちてくださっている。

一々の光明は あまねく十方世界を照らし

念佛の衆生を摂取して 捨てたまはず 『仏説觀無量寿經』

ひとつひとつの光明はすべての世界を照らして、仏を念じる人々を残らずその中におさめ取り、お捨てになることがないのである。

受けとめがたかった浄土の世界が

いつのまにか身の置きどころとなっている

なんまんだぶつと手を合わせる私 何がこの姿をうみだしてくれたのか

ひとつひとつの別れが お浄土に彩りを添えてくれる

法座にともに参加していたおばあちゃんが亡くなられ、お仏壇に手を合わせに行きました。生前、仲間が一人、また一人と亡くなるたびに「寂しいなあ」とこぼしておられたことを、娘さんから聞きました。その時、先輩がかけられた言葉があります。

「仲間が亡くなるたびに、寂しいことだったでしょう。けれども、その方はお浄土へ参られましたね。いまごろは、大好きだった仏さまのお話に花を咲かせておられるでしょう。お浄土は、いっそにぎやかであります」

照らされて育てられていく

人生には、さまざまな出遇いと別れがあります。別れはやはりつらいものです。けれど「あの人�が参った世界だ」と手を合わせてみたことがご縁となり、お寺へお参りし法話を聞くようになりました。多くの別れが、私に浄土、お念佛を告げ、今

の私へと育ててくれたのでしょう。ひとつひとつの命が、それぞれの光を放っています。さまざまな人の命を通して、浄土とお念佛を受け取らせようと、仏さまが私にはたらいてくださっているのです。

仏の心 それは大いなる慈悲の心 みかえりを求める愛

悲しみに共感し ぬぐいさろうとする心

浄土真宗の信仰に生きた九条武子さん

関東大震災後、孤児を育てる施設で盗みを繰り返す子がいました。14回目で警察から「こちらで預かる」と言われ、職員の間でも預けることに決まりかけます。そのとき、施設長の九条武子さんは言いました。「たった14回でこの子を諦めねばならないのか。私たちはどれほど罪を重ねたか。それ

でも仏さまは、私を見捨てなかったではないか」その言葉に支えられて子は戻り、やがて二度と同じ罪を重ねなくなりました。「こう生きなさい」と命じたからではなく、「思われている」という慈悲に触れたから、彼女の心は変わったのでしょう。



クララが立った!なぜ?

『アルプスの少女ハイジ』のクララが立たた理由のひとつは、療養先のアルプスが日の光に満ち、食べ物が変わり、体の働きが整ったこと。もといた都会は黒煙に覆われ、日光に当たらない暮らしをしていたのです。人は光に当たなければ、歩くことすらままならないんですね。

慈悲の心に触れたとき、おのずから生まれてくる心がある

正しさを知っていても、その通りに生きられない。だから…

私たちは正しい生き方を知らないわけではありません。頭ではわかっているけれど、その通りに生きられない。それが現実なのです。だからこそ、阿弥陀さまは「こう生きなさい」とおっしゃいません。

正しさから逃げようとする私を、責めることなく、条件をつけ

ることもなく、追いかけてでも抱きとめ、決して離さない。その大きな慈悲が、すでに私に向けられている。その心に触れたとき、「これ以上悲しませたくない」「できるなら、喜んでいただけの歩みを」そんな思いが、自然と起こってくるのではないでしょうか。



れんによしょにん 蓮如上人と大阪



蓮如上人は室町時代に、親鸞聖人の教えを受け継ぐ本願寺の中心となって、お念佛の教えを人々に伝える役割を担われた方です。仏さまの教えを、お手紙の言葉で伝え、「南無阿弥陀仏」を書きしるして授け、生きるよりどころとして示されました。そして、各地を歩き、御坊を建て、人びとのつながりを育てていきます。その歩みの中で生まれたご縁が、やがて大阪という町へつながっていくのです。今回はそんな蓮如上人と大阪のお話をします。

蓮如上人はどんな方？



蓮如上人（室町時代）
本願寺第八代宗主

と呼ばれています
たことから
寺教団は大きくなり
蓮如上人の時代に本願
中興の祖

やさしい言葉で教えを届ける

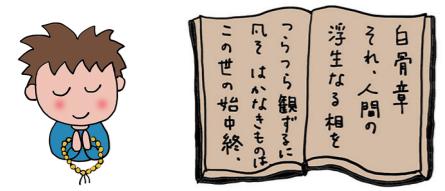
御文書

阿弥陀さまのお慈悲のお心を多くの方に受けとめていただけるようにと、誰にでもわかるやさしい言葉でお手紙をしたためられました。

御文章といえば、おつとめの後、お坊さんがこちらを向いて読むお手紙だよね。しょにんいちりゅうのごかんけのおもむきは～～

蓮如上人からお手紙をもらった僧侶が「このお手紙こそ、まことにありがたいご法語です」と伝えました。すると上人は、「そんな風に言わないで、やさしく「ふみ」と呼んでください」と応えられました。このことから、『御文』『御文章』と呼ばれるようになったんだよ

教えを特別なものにせず、だれにでも届くものであってほしいという想いがこめられていたんだね



紙に南無阿弥陀仏と書いて授ける

お名号の授与

「南無阿弥陀仏」（六字名号）を紙に書きしるし、お念佛をよりどころにしていた人びとにご本尊として授けられました。

「南無阿弥陀仏」とは「我にまかせよ、必ず救う」という阿弥陀さまの喚び声です。授けられたお名号を通じて、蓮如上人と人びとは、より親しく結ばれ、寄合の場も開かれるようになりました。このようにして、信仰を中心とした地域の共同体が全国各地にうまれていったのです

蓮如上人は生涯で三十万以上ものお名号を書かれたといわれているよ。高価な仏像や絵像を買えない貧しい人たちはそれをご本尊として拝んでいたのだね。中には、むしろの上で書かれたことにより、墨跡が虎のしま模様のようにまだらになつていて、大変めずらしいお名号も遺されています。

ともに集い、語り合う場が生まれる

『正信偈和讃』を印刷し、僧侶と人びとが共に同じ言葉で唱えられるようになりました。

『正信偈』とは親鸞聖人が書かれたお歌です。蓮如上人はこれと『和讃』6首を毎日のおつとめで拝誦していくという勤行形式を新たに定められました。これは500年以上経た現在でも、浄土真宗の日常勤行として継承されています。

阿弥陀さまの前では、僧侶も人びともみんな平等。みんなで声を出し、おつとめすることによって大きな一体感が生まれたんだね。その結果、蓮如上人の行く先々には多くの人が集まり、本願寺教団は飛躍的に発展したんだよ。

『正信偈』は、きみょうむりょうじゅによらい～なもふかしげこう～からはじまるね。『和讃』はその後の七五調の部分だね。みだじょうぶつの～このかたは～。節がついているから、みんなで唱えやすいね。

大阪に寺内町が誕生

北陸・近畿の各地に御坊を建立

蓮如上人は比叡山からの迫害を受けて、京都を追われた後、北陸や畿内の各地に御坊を築き、布教の拠点としました。

- ・吉崎（福井県あわら市）・出口（大阪府枚方市）
- ・富田（大阪府高槻市）・堺（大阪府堺市）
- ・山科（京都府山科市）…本堂を建設し本願寺を再興させた
- ・大坂（今の大坂城のあたり）…山科本願寺焼失後、本山に

大坂御坊が建てられたのは、「石山」と呼ばれる小高い土地でした。人家が一つも見えない寒々とした場所でしたが、蓮如上人はここが絶好のロケーションだと見抜かれたのです！

大坂の地は水陸にわたる交通の要衝

- ・北と東を淀川と大和川の大河が囲み、西は瀬戸内海
- ・堺という海外・ヨーロッパに通じる貿易港がある

↓
そこに大坂御坊が建てられ、集まった参詣者はやがて周辺で暮らしあり、次第に寺内町が形成されていきました。

↓
その中で、豪商たちの信仰が本願寺と深く結びつき、町の経済と文化を支えていました。

蓮如上人はすごいね！
何もなかったところに、人が集まって町が生まれたんだね！

「大坂」という地名が登場する最古の文献が、蓮如上人の御文書なんだよ

えっ！
僕の住んでいる大阪の名前や歴史が、浄土真宗とすごくつながってる！なんだか嬉しいな



大阪城公園の中に蓮如上人の筆跡で「南無阿弥陀仏」と刻まれた石碑があります。これは、かつてこの地に石山本願寺があつたことを伝えるものです。

御堂筋と商都大阪



イルミネーションが綺麗な御堂筋

大阪の礎を築いたお念佛の信仰

北御堂と南御堂

大坂御坊は織田信長との争いにより、その地を離れなければならなくなり、その後、現在の地に移り建立したのが、北御堂です。真宗大谷派の南御堂と並び、大阪の人びとに親しまれました。

商業の中心「船場」の町

この南北両御堂の近くに人びとが集まり、商業の中心「船場」の町を築きました。「御堂さんの鐘の聞こえるところで商売」を合言葉に商いに精を出したといいます。

御堂筋

両御堂の門前をつなぐ道は、御堂筋と名付けられ、現在も商都大阪の流通の中心的役割を担っています。

平座の精神

蓮如上人は、身分・立場・性別で座る場所をわけず、同じ床に同じ高さで座る「平座の精神」を実践し、人々と親しくひざを交えて仏さまの話をしました。その精神に育てられた人びとが、同じ目線で話し合い、助け合い、大阪の町を作ったのかもしれませんね

伊藤忠商事

創業者の伊藤忠兵衛は、近江商人の流れをくむ人物です。近江商人の世界では、浄土真宗の信仰が生活の中に深く根付いています。売り手と買い手が満足し、さらに社会にも貢献できるのが良い商売だとする「売り手よし・買い手よし・世間よし」という考え方も、こうした背景で育まれました。

大同生命保険

大同生命保険も、浄土真宗を信仰する商人たちによって設立されました。当時の商人たちは、病気や事故で働けなくなつた仲間を、皆で支え合う仕組みを必要としていました。この相互扶助の発想は「一人を見捨てない」という浄土真宗のみ教えと深く響き合っています。



浄土真宗のみ教えは、生き方だけでなく、人や社会への向き合い方にも息づいていたんだね。

参考文献

- ・『高校生からの仏教入門』小池秀章
- ・『智慧のともしび—顕証寺本 蓮如上人絵ものがたり』顕証寺編
- ・『堺別院史』
- ・北御堂ミュージアム

そうだ お寺へ行こう



泣いたり 笑ったり ほっとしたり

正覚寺は、これからも、誰もがこころ豊かに生きることができるよう、さまざまなことに取り組んでまいります。



1年の締めくくりのおつとめです

おつとめ

じよ やえ
除夜会



新年のおつとめを正覚寺で

おつとめ

がんたんえ
元旦会



2026年1月1日(木)～3日(土)
午前8時・午後4時

親鸞聖人のご命日と共に

おつとめ

じょうき
ご正忌(親鸞聖人ご命日)法要

1月14日(水)午前8時 午後4時
15日(木)午前8時 午後2時
16日(金)午前8時 午後4時

参加費 / 無料
持ち物 / お念珠

15日の14時からは
おぜんざいの接待があります！



俳句を一度も作ったことがない方も、一緒に最初の一歩を踏み出してみませんか

味わう

やさしい俳句教室 (慧明山 俳句会)

1月31日(土) 午後2時

ご講師 / 平石和美先生

参加費 / 2000円 (当日現金支払)

申込 / 正覚寺のライン公式・電話

持ち物 / 筆記用具



大好評につき、第3回目開催！



80分間ゆっくり呼吸しながら体をのばします

リラックス

お寺ヨガ

毎月 第1月曜日 13:00～14:20

毎月 第3月曜日 10:00～11:20

ご講師 / 不死川麻子先生

参加費 / 500円 (当日現金支払)

持ち物 / タオル・飲み物・ヨガマット (あれば)

予約 / 電話かライン公式で

(実施日の1ヶ月前から)

お茶を飲みながら、輪になって話しましょ

お茶&
おしゃべり

正覚寺法座&さろん



毎月 15日 午後2時

内容 / 正信偈・法話・さろん

参加費 / 無料

持ち物 / 念珠

毎月、親鸞聖人のご命日に合わせておつとめをしています。

参加者みんなで、お茶を飲みながら話をします。

遠の方、若い方、高齢の方、初めての方、久しぶりの方、いつもの方
その時だけの参加者でさまざまな話ができることが「さろん」の醍醐味です。

令和7年度堺市文化芸術活動応援補助金採択事業 詳細は別途お配りするチラシ・ライン公式・Instagram で

楽しむ

CROSS BORDER まだ知らない世界と出逢う

2月28日(土)

20店のにぎやかなバザールも！

*タブラとフラメンコギター ライブ

U-zhaan × 沖仁！！超豪華なライブが間近で！

*音！リズム！「クロスボーダー・セッション」

アフリカの楽器をみんなで演奏！自由なセッションを体験してみよう！

*ゆるっと、茶の湯「クロスボーダー・オアシス」

大阪・関西万博で茶会を企画した宮本雅代さんが催しを考案！

*麻田弘潤さんの消しゴムはんこ版画展

関西初！景品がもらえる麻田さんのオリジナルはんこラリーも！

*副住職のシルクロードのおはなし

& 消しゴムはんこワークショップ

実は身近なところに、シルクロードから伝わったモチーフがあるんです
麻田弘潤さんが作ったシルクロードのはんこを押せるワークショップも！



やなせなな師プロフィール
奈良県教恩寺住職
2004年シングル『帰ろう。』でデビュー
これまでに5枚のシングルと、ベスト盤、セルフカバー集を含む8枚のアルバムをリリースし、CMソングやゲームの主題歌、劇中歌などに使用される。
30歳で子宮体ガンを克服した経験と、寺院で暮らす僧侶という視点を生かし、生死の苦悩の先に広がる救いや、いのちのぬくもりを伝える楽曲を数多く発表。
包容力あふれる歌声と美しいメロディ、慈しみに満ちた唯一無二の世界観が持ち味で、年代・性別を超えた幅広い層から確かな支持を獲得している。

「歌う尼さん」やなせなな師の包容力あふれる歌声と美しいメロディ

歌とお話

永代経法要(春のお説教)

ご先祖のご縁によって、私たちはお釈迦さま・親鸞聖人のみ教えに出遇うことができました。このご縁が子や孫へと受け継がれ、お念佛のみ教えが永代にわたって伝わるようにとつとめられるのが永代経法要です。

3月28日(土) 午後2時と午後7時

ご講師 / やなせなな 師 参加費 / 無料



ご本山の清掃奉仕を通して、み教えとともに生かされる経験を仲間と味わいましょう

味わう

ねんぶつほうしだん
念仏奉仕団 宿泊 : 聞法会館

10回参加で記念品がもらえます！

5月7日(木)～8日(金)

次項で詳しくご案内しています

ひがんえ
春の彼岸会

3月
19日(木)～21日(土)
午後4時

花まつり

4月5日(日)
午後2時
午後4時

五箇荘
はるまつり

4月未定
桂吉弥
笑福亭純瓶
五箇荘地域会館にて

うらばんえ
于蘭盆会

8月15日(土)
午後2時
午後4時

秋の彼岸会

9月
22日(火)～24日(木)
午後4時



正覚寺 れぽーと

わくわくしたり
ほつとしたりする場所
いのちとこころが
あたたかくなる場所



落語の後のトーク &
抽選会も楽しい♪



やさしい俳句教室

8月23日(土)
10月25日(土)

誰かと一緒に味わう
生きる世界を言葉でとらえる



笑うつて素晴らしい!
落語は芸術ですね



見えていないに
目の前に愛おしい世界が広がる

セットも何もないのに、そこが動物園になったり、江戸の奉行所になったり。手拭いがお財布になったり、扇子がお箸になったり。目を動かすだけで、仲間と美味しいそうにおうどんをすすっているように見える。
自然に湧き上がる笑いに身を任せながら、落語家さんの並々ならぬ努力、心遣い、受け継いだ伝統が技となって現れているのだなと感動してしまいました。



正覚寺寄席

10月2日(木)
桂吉弥さん・桂弥っこさん

みんなの句に感心したり 種明かしに爆笑したり
先生の話に聞き入ったり 俳句作りに苦闘したり

奥深い俳句の世界を少しだけ見せていただきました。
いつもの風景が少し変わったような気がします。



寄せ報恩講

11月23日(日)

幸せはどんな時に?

夜 お布団に入ったとき
朝 目覚めたとき
友達とご飯を食べているとき
孫がやさしい言葉をかけてくれたとき
息子がご飯をおいしいと言ってくれたとき
お寺でこんなふうに過ごせるとき!

語りあうのもたまにはいいね



ガラガラの音がいいんだよね



ボールを転がすだけでこんなに楽しいなんてね



住職のひいたカードの数字とマークを当てますよ

悲しみを経験した先で また 幸せを感じることもあるんだね

人生は苦ないとお釈迦さまはおっしゃいました

悲しみ 苦しみ 喜び すべてを包みこむ幸せの世界があると 教えてくださっているのかな



麻田さんのはんこはあたたかい
頑張らなくていいんだね



消しゴムはんこワークショップ

12月13日(土)

お手本と比べないでくださいね
100点満点じゃないとダメだって決めちゃってませんか
なにかと比べて、モノの価値を喜んだり、悲しんだり
そんな現実の中で生きているけれど



それは長続きする喜びではないなあ

比べなくても ありのままの姿に喜べる世界
私が喜ぶ前に 喜んでくださる仏さま
心にそんな世界を持てたらいいな



これからのお寺と僧侶のための研修会を開催しました

2025年12月12日（金）

登壇者 麻田弘潤（極楽寺住職）

海野紀恵（本覺寺衆徒・フリーアナウンサー）

橋堂麻美（正覺寺衆徒）



「伝統を大切にしながら、これからの社会にあったお寺のあり方を考える」をテーマにし、全国各地から、様々な悩みや課題を抱えた方々にご参加いただきました。正覺寺の衆徒である橋堂麻美は、大きなイベントを開催した経験をお話いただきました。

立場も状況も異なる参加者が集まり、ひとりで抱え込むのではなく、みんなで考える時間となりました。

また、事前にLINE公式で実施したアンケートにご協力くださった皆さま、ありがとうございました。正覺寺と関わってくださるきっかけは人それぞれですが、寄せられた声からは、やはり仏さまのお話、いのち、こころのお話を大切にお伝えしていくことを求めておられるのだと感じました。

皆さまがお寺で語られる言葉に、私自身が助けられることも多くあります。いろんな言葉が生まれる空間っていいですね。

正覺寺の本堂で、何ができるだろう、どのように対話を重ねていけるだろうか。さまざまな取り組みを通して、皆さんと一緒に心ゆたかに道を歩めたらと思います。

今後ともどうぞよろしくお願ひいたします。

納骨壇の申し込み

ご相談
受付中

故人の家族や親族に代わり、永代にわたって
ご遺骨をお預かりいたします



お釈迦さまのご遺骨と阿弥陀さまのそばに

正覺寺にはスリランカから奉迎したお釈迦さまのご遺骨である仏舎利がおさめられています。私たちを仏さまの世界に出遇わせてくださったご先祖方を、より一層身近に感じていただけると思います。



本堂の後ろ側に48区画

サイズ：横幅350mm 奥行260mm 高さ275mm

正覺寺オリジナルデザイン

金色の扉には、副住職がデザインした菩提樹の葉があしらわれています。菩提樹は、お釈迦さまのさとりという心やすらかな世界をあらわしています。

場所の選択は先着順です

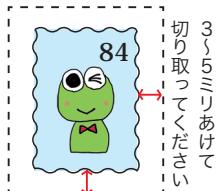
ご予定のある方は
お早めにご相談ください

永代合同墓も建設計画中

お墓の継承が困難に
なっても安心です

使用済み切手募集

いつもご協力ありがとうございます。集まつた切手は本願寺仏教婦人会が推進するダーナ活動を通じてユニセフに寄付いたします。



SNSも



正覺寺だより

あたらしい自分に出遇うきっかけに



LINE公式とInstagram公式アカウントの発信をしています

● 500文字のお手紙

仏さまの教えの味わいを写真と500文字のメッセージでお便りします。お寺の取り組みの中でも、いちばん時間をかけるところです。

● 仏教を味わう情報発信！

博物館や美術館、テレビ番組、本願寺のイベントなどの情報をお知らせします。また、観覧した感想もお送りします。

● 正覺寺の催し情報

法要はもちろんワークショップや催しの情報をお知らせ。人気のあるものは数時間で満席に。ラインの方が少し早く情報が届きます。

● 法事や葬儀、お参りの依頼

24時間いつでも、好きな時にご依頼いただけます。通常1日以内に返信いたします。内容を後から見返すこともできるから便利ですね。

● 質問やご相談、会話

分からないうことはお気軽に質問を。日頃感じる疑問やお悩みもお気軽にどうぞ。分かることはお答えし、分からないことは一緒に考えます。

おまけ Instagramストーリーズ

お参りで出遇ったかわいい子たち、お寺犬くららや花の様子を配信。「かわいい！癒される！」とご好評をいただいています。



ライン公式



インスタグラム



正覺寺は浄土真宗本願寺派（西本願寺）のお寺です

〒591-8003

大阪府堺市北区船堂町1-14-23

072-251-4350

contact@sakai-shogakuji.net



ホームページ